

やまたいこくの女王 じょうおう

ひみこ

かんいじゅうにかい じゅうしちじょう  
冠位十二階や十七条  
の憲法 けんぽう を定め、天皇 てんのう  
中心 ちゅうしん の政治 せいじ を進めた  
しょうとくたいし  
聖徳太子

ずいひつ まくらのそうし  
「随筆 枕草子」

を書いた

せいしょうなごん  
清少納言

たいか かいしん  
大化の改新を行い、後に  
てんじてんのう  
天智天皇となった  
なかのおおえのおうじ  
中大兄皇子

たいか かいしん  
大化の改新を支え、  
ふじわら  
後に藤原となった

なかとみのかまたり  
中臣鎌足

大仏を作った

しょうむてんのう  
聖武天皇

みんしゅう  
民衆に  
仏教を広めた

ぎょうき  
行基

ぶつぎょう  
仏教を広めるため、  
ちゅうごく ちゅうごく  
中国から来日した

がんじん  
鑑真

きぞく ちやうてい  
貴族として朝廷の  
政治を動かした  
ふじわらのみちなが  
藤原道長

ちやうへんしやうせつ  
「長編小説  
げんじものがたり  
源氏物語」  
を書いた

むらさきしきぶ  
紫式部